



旅の図書館では、観光に関わる皆様の交流を深めていただくことをねらいとして、「たびとしよ Cafe」を開催しています。



第14回

観光都市ロンドンはオリンピック・パラリンピックをどう捉えたか

—建築空間・公共空間・景観を観光レガシーへ—

ゲストスピーカー：山寄 一也 氏

(山寄一也建築設計事務所代表、女子美術大学非常勤講師)

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まであと2年。近年ではオリンピック政策の重要な取り組みの一つとして観光を位置づける国も多く、ロンドンオリンピックのようにユニークで戦略的な観光政策を展開した例も注目を集めています。日本でもレガシープランが策定され、観光面でも様々な取り組みが行われていますが、“観光レガシー”のあり方と、それを次世代に引き継ぐためにはどういったことを意識し、実践するべきでしょうか。

今回は、ロンドンオリンピックにおいてレガシーマスタープランや競技場の現場監理などに携わった、建築家の山寄一也氏をお迎えします。ロンドンをはじめ、近年開催されたオリンピックの事例をご紹介いただきながら、オリンピックを契機として、東京の建築空間・公共空間・景観をどう魅力的なものにしていくかについて考えます。



◆ゲストスピーカープロフィール◆

山寄一也建築設計事務所代表／一級建築士 1974年東京都出身。芝浦工業大学大学院建設工学修士課程修了。2001年単身渡英。観光ビザで500社以上の就活をし、ロンドンを拠点に建築設計活動を開始。2003～2012年に勤務したアライズ・アンド・モリソン・アーキテクトでは、欧州最大級となるハブ駅、キングスクロス・セントパンクラス地下鉄駅改修工事の現場監理やロンドン五輪の招致マスタープラン模型、レガシーマスタープラン、グリニッジ公園馬術競技場の現場監理に関わる。2013年1月帰国。東京を拠点に事務所設立。著書「イギリス人の、割り切ってシンプルな働き方」(カドカワ)「そのまま使える 建築英語表現」(学芸出版社)。女子美術大学非常勤講師。首都大学東京大学院観光科学域博士後期課程在籍

日時 2018年8月28日(火) 18:00～20:30

場所 (公財)日本交通公社 ライブラリーホール
〒107-0062 東京都港区南青山 2-7-29
日本交通公社ビル

対象 観光研究者、観光実務者、学生
(観光行政に関わる方、地域の観光関係者) など

定員 20名程度(先着順)

参加費 500円(お1人様/軽食・飲み物付き)
※当日、受付でお支払いください。
※当財団の賛助会員は参加費無料です。

申込方法 お申し込みは当財団ホームページの申し込みフォームよりお願いいたします。
<https://www.jtb.or.jp/library/event>

